

平成29年度

岩見沢市教育行政点検評価報告書

岩見沢市教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、平成29年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を実施しましたので、その結果について報告いたします。

平成30年 8月16日

岩見沢市教育委員会

目 次

第1章 岩見沢市教育行政点検評価について

1 点検評価の目的	1
2 点検評価の概要	1
3 学識経験者の知見の活用	1

第2章 教育委員会の会議開催状況

1 教育委員会の会議	2
2 会議の実施状況	2

第3章 各事業の点検評価

1 事業一覧	7
2 各事業の点検評価表	
学校教育の推進	8
社会教育の推進	18
子育て支援の推進	24

第4章 学識経験を有する方からの改善に向けたご意見

学校教育の推進	33
社会教育の推進	34
子育て支援の推進	34

資 料

平成29年度教育行政方針	35
--------------	----

第1章 岩見沢市教育行政点検評価について

1 点検評価の目的

この点検評価は、教育委員会が自らの権限に属する事務を点検・評価し、その結果に関する報告書を議会に提出・公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくという目的で実施しています。

2 点検評価の概要

対象年度は、教育委員会において平成29年度に実施した事務事業としています。

点検・評価を行う各対象事業については、教育行政方針に沿った施策を推進する上で、重点となる事業を選定いたしました。

点検評価の実施にあたっては、各事業における前年度までの課題を踏まえ「平成29年度の達成目標」を定め、「平成29年度の実施状況」について、評価・反省点を整理した上で、「今後の課題・取組の方向性」について検証し、今後の改善に向けた方針を明らかにするとともに、以後の事業運営に反映させることとしました。

なお、平成29年度のエド育行政方針については、報告書の後段に掲載いたしました。

3 学識経験者の知見の活用

点検評価を行うにあたっては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定により、教育に関して学識経験を有する方の知見を活用することとされています。

このことから教育委員会では、下記の5名の方を岩見沢市教育行政点検評価にかかる検討委員に委嘱し、5回の会議を通じて各事業の点検評価内容の説明を行うとともに、各委員から具体的な意見等を頂きながら点検評価を進めました。

なお、検討委員から頂いた改善に向けた意見の主なものについては、報告書の後段に掲載いたしました。

○岩見沢市教育行政点検評価にかかる検討委員

- ・高岡 いくみ : 岩見沢市社会教育委員（議長）、主任児童委員
- ・干場 法美 : 岩見沢市社会教育委員（副議長）
- ・山本 理人 : 北海道教育大学教授
- ・前野 雅彦 : 会社役員、岩見沢市PTA連合会会長
- ・室永 雅人 : 岩見沢市PTA連合会副会長

第2章 教育委員会の会議開催状況

1 教育委員会の会議

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき設置された合議制の執行機関です。この法律の一部を改正する法律が施行されたことにより、教育委員長と教育長を一本化した新教育長を設置し、責任体制の明確化が図られることとなりました。当市では、平成28年11月21日より、新教育長が任命され、新教育委員会制度に移行しております。

岩見沢市の教育委員会は、新教育長を代表として、4人の教育委員により組織されており、その権限に属する事務を処理させるために事務局を設置し、学校教育や社会教育等に関する事務を一体的に行っています。

教育委員は、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関して深い識見を持つ人の中から、市長が議会の同意を得て任命します。教育委員の任期は4年です。

教育委員会の会議には定例会と臨時会があり、定例会は原則として毎月第3火曜日、臨時会は必要に応じて開かれます。会議では、教育行政のあり方、教育関係の各種審議会等の委員の委嘱、各種規則等の制定などが話し合われます。

(1) 開催回数 ・定例会 12回
・臨時会 5回

(2) 審議事項 ・議決案件 53件
・報告案件 18件
・協議案件 11件

2 会議の実施状況

開催日	付議案件
平成29年4月18日	<p>〔議案〕</p> <p>第19号 岩見沢市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について</p> <p>第20号 岩見沢市いじめ問題専門委員会委員の委嘱について</p> <p>第21号 岩見沢市立教育研究所運営委員会委員の委嘱について</p> <p>第22号 岩見沢市立学校管理規則の一部改正について</p> <p>第23号 岩見沢市立学校の学校運営協議会に関する規則の一部改正について</p> <p>〔報告〕</p> <p>第5号 教育長の一般経過報告について</p> <p>第6号 平成29年岩見沢市議会第1回定例会について</p> <p>〔協議〕</p> <p>協議4 岩見沢市教育行政点検評価にかかる検討委員の選出方法について</p>

開催日	付議案件
	協議 5 岩見沢市教科用図書調査委員会委員の選出方法について 協議 6 岩見沢市学校給食運営委員会委員の選出方法について 協議 7 岩見沢市図書館協議会委員の選出方法について
平成 29 年 5 月 16 日	〔議案〕 第 24 号 岩見沢市教育行政点検評価にかかる検討委員の委嘱について 第 25 号 岩見沢市教科用図書調査委員会委員の委嘱について 第 26 号 岩見沢市教科用図書調査委員会に対する諮問について 第 27 号 岩見沢市学校給食運営委員会委員の委嘱について 第 28 号 岩見沢市社会教育委員の委嘱について 第 29 号 岩見沢私立幼稚園就園奨励費交付金に関する規則の一部改正について 第 30 号 岩見沢市立図書館協議会委員の委嘱について 第 31 号 平成 29 年度教育委員会関係補正予算について 〔報告〕 第 7 号 教育長の一般経過報告について
平成 29 年 6 月 21 日	〔議案〕 第 32 号 岩見沢市立高等学校職員の昇給及び勤勉手当に係る取扱要綱の設定について 〔報告〕 第 8 号 教育長の一般経過報告について 第 9 号 公立高等学校配置計画案について
平成 29 年 7 月 18 日	〔議案〕 第 33 号 岩見沢市教科用図書の採択について 〔報告〕 第 10 号 教育長の一般経過報告について 第 11 号 平成 29 年岩見沢市議会第 2 回定例会について 〔協議〕 協議 8 岩見沢市文化財保護委員会委員の選出方法について 協議 9 岩見沢市民会館運営委員会委員の選出方法について
平成 29 年 7 月 31 日 (臨時会)	〔議案〕 第 34 号 岩見沢市教科用図書の採択について

開催日	付議案件
平成 29 年 8 月 8 日	<p>〔議案〕</p> <p>第 35 号 平成 29 年度教育委員会関係補正予算について</p> <p>第 36 号 平成 28 年度岩見沢市教育行政点検評価報告書の提出について</p> <p>第 37 号 岩見沢市立学校給食共同調理所設置条例の一部改正について</p> <p>〔報告〕</p> <p>第 12 号 教育長の一般経過報告について</p>
平成 29 年 9 月 15 日 (臨時会)	<p>〔議案〕</p> <p>第 38 号 岩見沢市教育委員会の人事について</p>
平成 29 年 9 月 19 日	<p>〔議案〕</p> <p>第 39 号 平成 29 年度岩見沢市教育振興表彰について</p> <p>第 40 号 岩見沢市文化財保護委員会委員の委嘱について</p> <p>第 41 号 岩見沢市民会館運営委員会委員の委嘱について</p> <p>第 42 号 岩見沢市保育所等の利用調整に関する要綱の廃止について</p> <p>第 43 号 岩見沢市保育所等の利用調整に関する要綱の設定について</p> <p>〔報告〕</p> <p>第 13 号 教育長の一般経過報告について</p> <p>〔協議〕</p> <p>協議 10 平成 29 年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について</p>
平成 29 年 10 月 5 日 (臨時会)	<p>〔議案〕</p> <p>第 44 号 岩見沢市教育委員会の人事について</p>
平成 29 年 10 月 24 日	<p>〔議案〕</p> <p>第 45 号 岩見沢市立学校長人事について</p> <p>第 46 号 岩見沢市立学校教頭人事について</p> <p>第 47 号 岩見沢市立学校職員の服務について</p> <p>第 48 号 岩見沢市北村環境改善センター及び岩見沢市北村トレーニングセンターの指定管理者の指定について</p> <p>第 49 号 岩見沢市民会館及び岩見沢市文化センターの指定管理者の指定について</p> <p>第 50 号 岩見沢市総合体育館、岩見沢市野球場、みずほ公園野球場、みずほ公園サッカー場、あさぎり公園野球場及びあさぎり公園庭球場の指定管理者の指定について</p> <p>第 51 号 岩見沢市栗沢球場、岩見沢市栗沢テニスコート、岩見沢市栗沢パークゴルフ場及び岩見沢市栗沢 B & G 海洋センターの指定管理者の指定について</p>

開催日	付議案件
	<p>第 52 号 岩見沢市北村多目的体育館及び土里夢公園パークゴルフ場の指定管理者の指定について</p> <p>〔 報告 〕</p> <p>第 14 号 教育長の一般経過報告について</p> <p>第 15 号 平成 29 年岩見沢市議会第 3 回定例会について</p>
平成 29 年 11 月 21 日	<p>〔 議案 〕</p> <p>第 53 号 岩見沢市立学校職員の服務について</p> <p>第 54 号 平成 29 年度教育委員会関係補正予算について</p> <p>第 55 号 岩見沢市保育士等人材バンク設置運営要綱の設定について</p> <p>〔 報告 〕</p> <p>第 16 号 教育長の一般経過報告について</p> <p>〔 協議 〕</p> <p>協議 11 平成 29 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について</p>
平成 29 年 12 月 19 日	<p>〔 報告 〕</p> <p>第 17 号 教育長の一般経過報告について</p> <p>第 18 号 平成 29 年岩見沢市議会第 4 回定例会について</p> <p>〔 協議 〕</p> <p>協議 12 平成 30 年度教育委員会関係予算見積り状況について</p>
平成 30 年 1 月 16 日	<p>〔 議案 〕</p> <p>第 1 号 岩見沢市北村ゲートボール場条例の一部改正について</p> <p>第 2 号 岩見沢市立高等学校職員の昇給及び勤勉手当に係る取扱要綱の一部改正について</p> <p>〔 報告 〕</p> <p>第 1 号 教育長の一般経過報告について</p> <p>〔 協議 〕</p> <p>協議 1 岩見沢市社会教育委員の選出方法について</p> <p>協議 2 岩見沢市スポーツ推進委員の選出方法について</p>
平成 30 年 2 月 6 日 (臨時会)	<p>〔 議案 〕</p> <p>第 3 号 平成 29 年度教育委員会関係補正予算について</p>
平成 30 年 2 月 19 日	<p>〔 議案 〕</p> <p>第 4 号 平成 30 年度教育委員会関係予算について</p> <p>第 5 号 平成 29 年度教育委員会関係補正予算について</p>

開催日	付議案件
	第 6 号 平成 30 年度教育行政方針の設定について 〔 報告 〕 第 2 号 教育長の一般経過報告について 第 3 号 岩見沢市立学校職員の服務について
平成 30 年 3 月 8 日 (臨時会)	〔 議案 〕 第 7 号 岩見沢市立学校長人事について 第 8 号 岩見沢市立学校教頭人事について 第 9 号 岩見沢市立学校一般教職員人事について
平成 30 年 3 月 27 日	〔 議案 〕 第 10 号 事務遅延に伴う職員の服務上の責任について 第 11 号 岩見沢市立学校職員の服務について 第 12 号 岩見沢市教育委員会の人事について 第 13 号 岩見沢市社会教育委員の委嘱について 第 14 号 岩見沢市スポーツ推進委員の委嘱について 第 15 号 岩見沢市放課後児童健全育成事業運営要綱の一部改正について 第 16 号 岩見沢市立ふれあい子どもセンター条例施行規則等の一部改正について 〔 報告 〕 第 4 号 教育長の一般経過報告について

第3章 各事業の点検評価

1 事業一覧

施策番号	教育行政方針の重点施策名	重点施策に関連する事務事業名	担当課	頁番号	
A 学校教育の推進					
1	新しい時代に対応できる力の育成	1) 教育指導振興事業※ 2) 子どもがかがやく学校活動支援事業※ 3) 学力向上対策事業	指導室 指導室 指導室	8	
2	豊かな人間性と健やかな体を育成する教育の推進	4) 教育情報システム化推進事業	学校教育課	9	
		5) 児童健康管理事業 6) 生徒健康管理事業	学校教育課 学校教育課	10	
		7) 教育指導振興事業※	指導室	11	
3	育ちと学びを支える教育環境の充実	8) 教育支援センター事業	指導室	12	
		9) 特別支援教育推進事業 10) 教育研究所運営事業 11) 外国語指導助手活用事業	指導室 指導室 指導室	13	
		12) 小・中学校校舎等管理事業 13) 中央小学校校舎等改築事業 14) 東小学校校舎改修事業	教育施設課 教育施設課 教育施設課		14
		15) 教育指導振興事業※ 16) 子どもがかがやく学校活動支援事業※	指導室 指導室	15	
5	緑陵高等学校の教育の充実	17) 学校管理事業	緑陵高等学校	16	
6	学校給食の充実	18) 学校給食共同調理所運営事業 19) 学校給食共同調理所整備事業	学校給食課 学校給食課	17	
		B 社会教育の推進			
1	生涯学習の充実	20) 市民の学び支援事業	生涯学習・文化・スポーツ振興課	18	
2	芸術・文化活動の推進	21) 文化のまちづくり事業 22) 地域文化振興事業 23) 郷土科学館管理運営事業	生涯学習・文化・スポーツ振興課 生涯学習・文化・スポーツ振興課 生涯学習・文化・スポーツ振興課	19	
		24) 栗沢文化交流施設整備事業	教育施設課		20
		25) 健康・スポーツ振興事業 26) オリンピック・パラリンピック推進事業	生涯学習・文化・スポーツ振興課 生涯学習・文化・スポーツ振興課	21	
27) スポーツ施設管理運営事業	教育施設課	22			
4	図書館運営の充実	28) 図書館活動運営事業 29) ブックスタート事業	図書館 図書館	23	
		C 子育て支援の推進			
1	子ども・子育て支援の充実	30) 子ども・子育て支援事業※ 31) 産前産後ヘルパー事業 32) あそびの広場運営事業	子ども課 子ども課 子ども課	24	
		33) 栗沢認定こども園運営事業 34) 保育所入所・幼稚園入所運営事業 35) 病児・病後児保育運営事業	子ども課 子ども課 子ども課		26
		36) 子ども・子育て支援事業※ 37) 児童療育事業	子ども課 子ども課	28	
		38) 留守家庭児童対策事業 39) 児童厚生施設改修事業	子ども課 子ども課		
		40) 青少年対策事業 41) 青少年育成事業	子ども課 子ども課	31	

※複数の施策に関連する事業

2 各事業の点検評価表

次頁以降のとおり

平成29年度 岩見沢市教育行政点検評価表

施策番号	A-1	担当課 【 指導室 】
教育行政方針の分野・重点施策名	学校教育の推進 新しい時代に対応できる力の育成	
重点施策に関連する事務事業名	1) 教育指導振興事業 2) 子どもがかがやく学校活動支援事業 3) 学力向上対策事業	

目的・概要	
<p>・未来を生き抜くために必要な資質・能力の育成を図るため、日常授業の改善を中核とした組織的な学校改善に取り組み「子どもを大切に作る岩見沢の教育づくり」を展開する。</p> <p>・学校と地域が連携・協働した教育活動を推進するため、学校の創意工夫による教育活動やボランティアと連携した活動、コミュニティ・スクールの導入などを支援する。</p>	
平成29年度の達成目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査正答率～A問題80% B問題60% ・標準学力検査～すべての学校が全国平均以上 ・日常授業の改善の徹底～「教えて考えさせる」授業スタイルとピア・サポート ・学力向上策や豊かな体験活動の推進など、学校が企画する魅力ある教育活動への支援 ・学習塾との連携による土曜学習会等の学力向上事業の推進 	
平成29年度の実施状況	評価・反省点
○組織的な学校改善の中核として「日常授業の改善」を位置づけ、児童生徒が身につけた知識・技能を活用し、思考・判断・表現しながら課題解決に向けて学習する「教えて考えさせる」授業スタイルと「ピア・サポート」による「傾聴・受容・共感」の学校風土づくりを推進した。	「日常授業の改善」は着実に前進してきている。数値目標を達成した学校も出たが、市全体の平均では未達成である。
○教育委員会では、市全体の全国学力・学習状況調査の結果を数値で公表した。各学校は、標準学力検査、全国学力・学習状況調査の結果を保護者・地域に数値で公表した。	結果を受けた改善方策を確実に実施し、次年度の成果につなげることが重要である。
○各学校の創意工夫を活かした教育活動に対して補助金を配分し、取組みを支援した。 ・教師の指導力向上のための取組み ・児童生徒の学びに向かう力を高める取組み ・地域人材をボランティアとして活用した取組み等	魅力ある事業に重点的に配分したが、各学校の企画立案内容の格差が大きくなってきている。
○光陵中学校に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとして教育活動その他の学校運営を推進した。 ○学校運営協議会を年間4回開催し、校長の学校経営方針の承認、様々な学校情報の共有、連携・協働による教育活動や学校運営の推進に取り組んだ。	光陵中学校の取組みの成果と課題を検証し、コミュニティ・スクール導入の拡大や小中一体となった取組みについての検討が必要である。
○学力向上に係る各種事業を推進した。 ・学習塾との連携による土曜学習「Sスタディ」の実施 ・ALTを活用した「土曜キッズ英会話」の実施 ・囲碁授業の実施	参加者増に向けた取組みの工夫が必要である。
今後の課題・取組みの方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ・「教えて考えさせる」授業スタイルの組織的な展開により、児童生徒が思考・判断し表現する活動時間を位置づけた「日常授業の改善」を徹底し学習内容の定着を図る。 ・全国学力・学習状況調査における数値目標を確実に達成する。 ・小中の連携・接続、地域との連携・協働の強化により、異校種や地域が一体となって児童生徒にこれからの時代に必要な資質・能力を身に付けさせる。 	

平成29年度 岩見沢市教育行政点検評価表

施策番号	A-2	担当課	【 学校教育課 】
教育行政方針の分野・重点施策名	学校教育の推進 豊かな人間性と健やかな体を育成する教育の推進		
重点施策に関連する事務事業名	4) 教育情報システム化推進事業 (学校図書館資源共同利用事業)		

目的・概要

【目的】
市内小中学校及び緑陵高等学校において、学校図書館を活用した教育の推進を図り、児童生徒が自ら学び考える力を育む。

【概要】
学校図書館システムの維持管理による
・学校図書館の円滑な運用
・学校間及び市立図書館との図書の共同利用
・蔵書データベースの整備及び維持管理
学校図書館担当者会議の開催

平成29年度の達成目標

- ・学校図書館システムを活用した校内貸し出しシステムとしての円滑な運用と蔵書データベースの整備
- ・学校図書館図書の有効活用のため、学校間及び市立図書館との図書の共同利用を促進する。

平成29年度の実施状況	評価・反省点
-------------	--------

○学校図書館システム講習会の開催 (4月21日・24日、7月3日・5日)	システム講習会を実施し、システムの適切な利用促進を図った。																								
○学校図書館担当者会議の開催 (4月27日、9月8日、2月23日)	共同利用の促進、学校図書館運用に関する情報共有・意見交換を図ることができた。																								
○学校図書館用図書の一括購入分として、3か年計画で百科事典の更新を実施 (H29は小学校は岩見沢小ほか5校、中学校は光陵中ほか3校が対象) (6月2日学校調査、6月21日発注、7月下旬納品)	予定どおり実施できた。																								
○学校での新規購入図書のデータベース登録 (随時)	適宜実施できた。																								
○学校図書館の蔵書点検 (随時)	適宜実施できた。																								
○学校間及び市立図書館との図書の貸し借りの実施 (848冊)	全体の利用数は昨年度より減少しているが、原因は学校の蔵書率の向上等によるものと考えている。(H30.3.31現在の小学校全体の蔵書率は85.7%、中学校全体では100%)																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書館から学校</td> <td>1,245</td> <td>957</td> <td>986</td> <td>1,082</td> <td>831</td> </tr> <tr> <td>学校間</td> <td>62</td> <td>33</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,307</td> <td>990</td> <td>993</td> <td>1,084</td> <td>848</td> </tr> </tbody> </table>			H25	H26	H27	H28	H29	図書館から学校	1,245	957	986	1,082	831	学校間	62	33	7	2	17	計	1,307	990	993	1,084	848
		H25	H26	H27	H28	H29																			
図書館から学校		1,245	957	986	1,082	831																			
学校間	62	33	7	2	17																				
計	1,307	990	993	1,084	848																				

今後の課題・取組の方向性

- ・学校間及び市立図書館との貸し借りについては、学校全体の蔵書率の向上もあり、今年度の利用は減少しているが、学校図書館にある図書だけでは不足する場合、図書資源を共有できる環境が必要である。
- ・学校図書館が「読書センター」及び「学習・情報センター」としての機能を発揮し、児童生徒が自ら学び考える環境を構築していくため、今後も必要な整備を行うとともに、各学校の図書担当者に対する研修等を通じて、利用促進を図っていきたい。

平成29年度 岩見沢市教育行政点検評価表

施策番号	A-2	担当課	【 学校教育課 】
教育行政方針の分野・重点施策名	学校教育の推進 豊かな人間性と健やかな体を育成する教育の推進		
重点施策に関連する事務事業名	5) 児童健康管理事業 6) 生徒健康管理事業		

目的・概要

【目的】
学校保健安全法に基づき、児童生徒に対する各種健康診断等を実施し、健康で安全な教育活動を推進する。

【概要】
・各種健康診断の実施
・小学校におけるフッ化物洗口の実施

平成29年度の達成目標

学校医等との連携を図り、各種健康診断等を実施する。

平成29年度の実施状況

- 健康診断等
 - ・内科健診等（4月～6月）
 - ・歯科検診（5月）
 - ・尿検査（4月）
 - ・ぎょう虫検査（6月）
 - ・心臓検診（4月、5月）
 - ・就学時健診（10月）

- フッ化物洗口（通年）
実施（希望）人数

H28実施者		H29希望者		増減率
3,027	82.7%	3,095	84.9%	
(3,660人中)		(3,645人中)		

評価・反省点
予定どおり実施できた。

今後の課題・取組の方向性

- ・引き続き各種検診等を実施し、児童生徒の健康の保持増進に努める。

平成29年度 岩見沢市教育行政点検評価表

施策番号	A-2	担当課	【 指導室 】
教育行政方針の分野・重点施策名	学校教育の推進 豊かな人間性と健やかな体を育成する教育の推進		
重点施策に関連する事務事業名	7) 教育指導振興事業		

目的・概要

児童生徒一人ひとりの自尊感情を高め、自己指導能力の育成を図る積極的な生徒指導を推進するとともに、命を大切にする心や他人を思いやる心、美しいものや自然に感動する心、モラルを育てる教育を充実し、豊かな人間性を育む。

平成29年度の達成目標

- ・児童生徒の自尊感情、自己肯定感の高揚を図る。
- ・特別の教科道徳の実施に向けて「道徳の時間」の授業の充実を図る。
- ・「家読」「朝読」の取組みを進め、豊かな感性や想像力を育む読書活動の充実を図る。
- ・1校1実践の体力づくりの取組みを進め、体力向上や運動の習慣化を図る。

平成29年度の実施状況	評価・反省点
-------------	--------

○市内全校でピア・サポートプログラムを導入し、児童生徒の「傾聴・受容・共感」の態度を育み、自尊感情や自己肯定感の高揚と人間関係能力の育成を図る。	指導室指導員を学校に派遣したピア・サポート研修の推進により、各学校の実践を支援できた。
--	---

○道教委指定「道徳教育推進校事業」や東光中学校区道徳教育授業公開研修会により道外から講師を招聘し師範授業や授業研究を推進するなど、道徳の授業改善、指導内容の充実に向けた取組みを展開した。	教員の道徳の授業に対する意識転換が大きく進み、道徳の授業力向上に向けた積極的な取組みが実施されるようになってきた。
---	---

○全小中学校3学年分の「hyper-QU（よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート）」の予算化と実施により、よりよい学級集団づくりと児童生徒への指導に活かす取組みを推進することができた。	教育支援センターによるhyper-QU活用研修と学校支援により、各学校の理解と活用が進んだ。
--	--

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査、新体力テストの実施と分析に基づく体力や運動習慣等の実態把握と、体力向上策を推進した。また、体力向上に向けた改善策を含めた詳細な報告書を作成し、市教委ホームページにて周知した。	特に中学生の体力が男子女子ともに全国平均を大きく下回っており、体力向上に向けた実効性ある取組みが急務である。
--	--

○学校教育指導による体育、保健体育の授業への指導・助言や体育専科教員加配事業の成果の普及などにより、特に小学校で体力向上に向けた授業改善に成果があった。	体育、保健体育の授業だけではなく、生活全般を見通した体力向上に向けた取組みの必要がある。
--	--

今後の課題・取組みの方向性

- ・道徳の教科化による「考え議論する道徳」に向けた授業改善を確実に図るための研修の充実を図る。また、道教委の「道徳教育推進校事業」指定を継続実施していく。
- ・読み聞かせボランティアとの連携による本に親しみ読書の魅力を高める取組みや「朝読書」などの読書活動の継続実施を徹底する。
- ・体力向上に向けた取組みの徹底とともに、全国体力・運動能力、運動習慣等調査方法の改善や事前指導の充実を図る。

平成29年度 岩見沢市教育行政点検評価表

施策番号	A-3	担当課	【 指導室 】
教育行政方針の分野・重点施策名	学校教育の推進 育ちと学びを支える教育環境の充実		
重点施策に関連する事務事業名	8) 教育支援センター事業		

目的・概要	
<p>幼児、児童、生徒、保護者、学校等に必要な教育的支援を行い、子どもの人格の健全な成長を援助する。そのため、教育支援コーディネーターを相談窓口、他機関とのパイプ役として配置し、必要に応じて、教育相談のスタッフや登校支援室職員が支援を行う。</p>	
平成29年度の達成目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・紹介リーフレットを小中学校全家庭に配付するなど教育支援センターの周知に努める。 ・関係機関との連携を図り、悩み等の早期解決を図る。 ・専門家スタッフの積極的な学校訪問により、専門的見地からの実態把握と学校と連携を図った支援を実施する。 	
平成29年度の実施状況	評価・反省点
<p>○教育支援コーディネーターを窓口として、スクールソーシャルワーカー、医師、心理の専門家（SCスーパーバイザー）が教育相談を行い、必要に応じて関係機関と連携を図り、相談者の悩み等の早期解決を図ることができた。</p>	<p>延べ相談件数 H27 424件 H28 831件 H29 1,241件 件数増加への対応が急務。</p>
<p>○教育支援センタースタッフが学校訪問を行い、医療・心理の専門的な見地からの実態把握を行い、支援が必要な児童生徒に対する早期対応を図ることができた。</p>	<p>教職員との連携体制が整備されてきた。学校からの積極的な訪問要請が増加した。</p>
<p>○登校支援については、緑が丘ルーム（集団指導中心）、有明ルーム（個別指導中心）を活用し、学習支援に加えて体験的な活動も重視しながら個に応じた登校支援を行い、早期の学校復帰を目指した。</p>	<p>平成29年度は、43人に登校支援を行い27人が学校復帰を果たすことができ、大きな成果をあげた。（前年度は、50人中19人復帰）</p>
<p>○「hyper-QU（よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート）」の分析結果を学校に還流し、よりよい学級集団づくりといじめ・不登校等の未然防止に資することができた。</p>	<p>専門家スタッフがhyper-QU活用の校内研修講師として教員研修を実施し、教育活動の改善に大きく貢献した。</p>
<p>○外部から講師を招聘した講演会を開催し、教職員の実践的指導力の向上や保護者の理解促進に資することができた。 11/15 「発達障害の理解と支援」 講師 北海道発達障害者支援センター 片山智博氏</p>	<p>これまでの教員対象から保護者も対象とした研修会の開催により成果があがった。</p>
今後の課題・取組みの方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数の増加に適切に対応するためスタッフの増員が不可欠であったため、平成30年度からは、特別支援教育専門員を新規に1名配置、スクールソーシャルワーカーを1名増員し2名体制とした。 ・今後も積極的な学校訪問を実施し、支援が必要な児童生徒の早期発見に取り組み、発達障害や家庭問題等を要因とする課題の解決に向けて活動していく。 	

平成29年度 岩見沢市教育行政点検評価表

施策番号	A-3	担当課	【 指導室 】
教育行政方針の分野・重点施策名	学校教育の推進 育ちと学びを支える教育環境の充実		
重点施策に関連する事務事業名	9) 特別支援教育推進事業 10) 教育研究所運営事業 11) 外国語指導助手活用事業		

目的・概要

- ・心身に障がいを持つ児童生徒及び特別な教育的支援を必要とする児童生徒の自立と社会参加に向けた教育的ニーズを把握し、適切な就学支援及び必要な支援を行う。
- ・岩見沢市の教育の充実のため、教育課題の解明に向けた調査・研究事業などを推進する拠点として教育研究所を運営する。
- ・「英語を使える岩見沢市の児童生徒」の育成を目指す。

平成29年度の達成目標

- ・児童生徒の実態に応じて適切な支援を行い、一人一人の児童生徒の健全な発達を促す。
- ・各種の研修講座や研究授業などを通して、教職員の実践的指導力の向上を図る。
- ・学校での授業だけではなく、子どもたちが外国の人とコミュニケーションを図る楽しさを体験することで、「英語を使える岩見沢市の児童生徒」の育成を目指す。

平成29年度の実施状況

○特別支援教育推進委員会、専門家チーム会議を開催するとともに巡回相談を実施し、特別支援学級はもとより、通常の学級における特別支援教育の充実に努めた。

評価・反省点

特別支援教育のねらいや合理的配慮への理解が不十分な対応が散見され、改善に向けた指導を要する。

○特別支援学級及び通常の学級に在籍する支援を必要とする児童生徒に対する支援のため、特別支援教育支援員を配置（平成29年度は25名）するとともに、効果的な支援を実施するための研修会を実施した。

地方交付税算定基準である1校に1名の支援員配置となっているが、より多くの支援員の配置が必要な状況である。

○幼児ことばの教室において、言語聴覚士を含む3名の指導員による新規の相談者に対する教育相談、通級する幼児への指導・観察を実施した。

幼児ことばの教室と保健センター・子育て支援センター・子ども発達支援センターつみき園の効果的な連携に課題がある。

○教育研究所の部会研究事業（第1部会から第4部会まで）の調査研究、遠隔学習をはじめとする情報教育事業、Web教材の作成、教育大学との連携事業等に取り組み成果をあげた。

これまで以上に岩見沢の教育の成果に直結する事業を推進するため、運営の改善を図っていくことが必要である。

○9名の外国語指導助手を市内の各小中学校及び緑陵高等学校に配置し、外国語科及び外国語活動における指導内容の向上に努めるとともに、小学校高学年を対象とした「土曜キッズ英会話」を実施した。

ALT2名の途中帰国により事業の推進に支障をきたした。「土曜キッズ英会話」等の事業拡大を目指す。

今後の課題・取組みの方向性

- ・特別支援教育の理解深化研修や専門家チームの在り方について検討し改善を図る。
- ・特別支援教育支援員の増員を目指し、適切な配置に努める。
- ・幼児ことばの教室が関係機関と適切に連携できる体制を整備していく。
- ・教育研究所の運営を「調査・研究」「養成・研修」の視点で改善を図る。
- ・「土曜キッズ英会話」の参加学年拡大、中学生対象「英検学習会」の新規開催により取組みの充実を図る。

平成29年度 岩見沢市教育行政点検評価表

施策番号	A-3	担当課	【 教育施設課 】
教育行政方針の分野・重点施策名	学校教育の推進 育ちと学びを支える教育環境の充実		
重点施策に関連する事務事業名	1 2) 小・中学校校舎等管理事業 1 3) 中央小学校校舎等改築事業 1 4) 東小学校校舎改修事業		

目的・概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の施設の維持管理や計画的な設備の更新・整備等を行い、教育環境の充実を図る。 ・子どもたちが安心して学習等のできる教育環境の整備を行うため、中央小学校の耐震診断調査結果に基づいた移転改築工事を行う。 ・老朽化が著しい東小学校校舎の大規模改修に向けた設計業務を行う。 	
平成29年度の達成目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の施設整備の維持管理を行い、児童生徒の安全確保と教育環境の充実を図る。 ・中央小学校の移転改築工事を実施する。 ・東小学校校舎の大規模改修に向けた設計業務を行う。 	
平成29年度の実施状況	評価・反省点
○小中学校の校舎や屋内体育館における壁や床の破損、電気、機械及び給排水管設備等の故障や不具合については、安全性に関わるものを最優先に修繕を行なった。	予定どおり実施できた。
○中央小学校の移転改築工事を実施した。（2か年工事の1年目）	予定どおり実施できた。
○東小学校校舎の大規模改修に向けた基本・実施設計業務を実施した。	予定どおり実施できた。
今後の課題・取組の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の施設設備の維持管理について安全に関わるものを優先に修繕を実施する。 ・中央小学校の移転改築工事を引き続き実施する。 ・東小学校校舎の大規模改修工事を実施する。 	

平成29年度 岩見沢市教育行政点検評価表

施策番号	A-4	担当課	【 指導室 】
教育行政方針の分野・重点施策名	学校教育の推進 信頼と期待に応える開かれた学校づくり		
重点施策に関連する事務事業名	15) 教育指導振興事業 16) 子どもがかがやく学校活動支援事業		

目的・概要

- ・学校評価により組織的な学校改善を図り、信頼される活力ある学校づくりに努める。
- ・地域人材の積極的な活用、地域と連携した教育活動の展開により、地域と連携・協働した開かれた学校づくりを推進する。

平成29年度の達成目標

- ・学校関係者評価により、各学校の教育活動その他の学校運営の改善を図る。
- ・各学校が創意工夫を活かして企画立案する特色ある教育活動を積極的に支援する。
- ・「学校・地域元気アップ支援事業」により地域人材をボランティアとして派遣し、学校・家庭・地域の連携・協働による教育活動を展開する。

平成29年度の実施状況	評価・反省点
-------------	--------

○市内全25小中学校、緑陵高等学校において、学校評価推進委員会を中心に自己評価を行うとともに、うち13校を対象校として学校関係者評価を実施し、学校改善に資することができた。	学校評価が形骸化している実態も見られ、取組みの改善を要する。
--	--------------------------------

○子どもがかがやく学校活動支援事業により、学力向上に向けた取組みや豊かな心を育む取組み、体力向上に向けた取組み等、各学校が創意工夫を活かして企画立案する特色ある教育活動を積極的に支援することができた。	事業の趣旨を活かした教育活動を積極展開する学校と取組みが形骸化している学校との格差が出てきており、対応を要する。
--	--

○学校支援ボランティアを広報、市教委ホームページ、町内会を通じて募り、学習支援、体力測定補助、環境整備活動、農業体験補助等、延べ12,431人が活動した。 (前年度14,012人、前々年度13,231人)	各学校においてボランティアを有効活用した教育活動が継続的に行われている。
---	--------------------------------------

--	--

--	--

今後の課題・取組みの方向性

- ・各学校で行われる学校評価と学校関係者評価の一層の連動を進め、学校改善に資する取組みへと改善していく必要がある。
- ・学校活動支援事業の趣旨を活かした教育活動がより多くの学校で積極的に展開されるよう、各学校に働きかけていくことが重要である。
- ・学校支援ボランティアの高齢化や需要と供給のズレといった課題の解消が急務である。

平成29年度 岩見沢市教育行政点検評価表

施策番号	A-5	担当課	【 緑陵高等学校 】
教育行政方針の分野・重点施策名	学校教育の推進 緑陵高等学校の教育の推進		
重点施策に関連する事務事業名	17) 学校管理事業		
目的・概要			
市立高校として、地域の良さを学び地域社会の発展に貢献できる人材の育成を目指すとともに、家庭や地域社会と連携して市民に開かれた魅力あふれる学校づくりを推進する。			
平成29年度の達成目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学び、考える生徒の育成 ・生徒の能力・適正に応じた進路の実現 ・教職員の専門性の向上と質の高い普通教育及び商業教育の提供 ・法令順守の徹底による円滑かつ適正な学校経営の推進 			
平成29年度の実施状況		評価・反省点	
<p>○多様な進路希望に対応するために、年度当初より計画的に進路ガイダンス等を実施して生徒の意識の高揚に努めた。</p> <p>○進学希望者への対応として長期休業中の講習の他に模試対策講習や結果分析を行った。就職希望者へはインターンシップ・模擬面接や公務員講習などを実施した。その結果国公立大学、看護学校、専門学校へ170名が進学し、民間就職では希望者44名全員が内定し、公務員就職が17名であった。</p> <p>○就職先事業所と就職者に対する連絡・問い合わせによる情報収集を行い、早期離職防止に努めた。</p>		<p>大学進学希望者が増加している傾向にあり、確かな学力を身に付けさせるための講習の実施、視野・見聞を広めるためのガイダンス、個人面談指導の充実に努めていく。</p> <p>公務員、民間就職は順調に成果を挙げた。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・各教科における研究会、他校視察研修を前年に続き奨励するとともに、全校生徒による全ての授業評価を年に1回から2回に増やし、授業改善、教科指導の向上に努めた。 ・小中学校教諭、本校生徒保護者へ実施している授業公開について、案内の工夫などを行い、来校者増加に努めた。 ・高大連携、地域各所との連携により、体育、商業をはじめ多くの授業において地域に密着した授業を行った。 		<p>研究会等への参加が複数見られ、学力の向上が顕著であった。</p> <p>例年になく多くの他校種の先生方が来校した。今後、更に増えるよう検討する。</p> <p>専門的で効果的な授業を実施できた。</p>	
<p>○発展クラスの選出方法について、新年度に繋げる方針を検討した。また、高大連携授業の拡大を計画しスポーツ総合コースの内容を充実させた。</p> <p>○市内中学校をはじめ管内中学校を中心に、早めの中学校訪問を行い、高校進学に役立つ資料の提供を実施した。</p>		<p>高大連携授業については、次年度コースの完成年度でもあり更なる充実に努める。</p> <p>早めの中学校訪問によって三者面談で有効な資料を手渡せた。</p>	
<p>○授業公開や芸術週間、地域の行事やイベントへの支援と積極的な参加、ボランティア活動などに積極的に取り組み、開かれた学校づくりを推進した。</p>		概ね順調に進めた。	
<p>○学校祭バザー、登下校指導、公開授業、PTA研修旅行、緑陵PTA懇談会等を実施してPTAの活性化に努めた。</p>		概ね順調に進めた。	
今後の課題・取組の方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ・系統的なキャリア教育の実践により、生徒の社会人としての「生き方」を見据えた進路実現に努める。 ・生徒・保護者の多様なニーズを踏まえ、深い思考を基盤とした学力の向上と主体性を養う特別活動・部活動の推進を図る。 ・本校の教育実践を丁寧に説明するとともに、説明会・体験入学・部活動見学会等、可視化のための手だてを充実させる。 			

平成29年度 岩見沢市教育行政点検評価表

施策番号	A-6	担当課	【 学校給食課 】
教育行政方針の分野・重点施策名	学校教育の推進 学校給食の充実		
重点施策に関連する事務事業名	18) 学校給食共同調理所運営事業 19) 学校給食共同調理所整備事業		

目的・概要	
<ul style="list-style-type: none"> 衛生管理の一層の徹底を図るとともに献立の充実により、安全安心で子どもたちが健やかに成長できる学校給食を提供する。 食に関する指導を充実し、家庭や学校と連携した食育を推進する。 	
平成29年度の達成目標	
<ul style="list-style-type: none"> 学校給食に地場産物を積極的に取り入れ地産地消を推進するとともに、児童生徒が将来にわたり正しい食生活が送れるよう、食の指導を充実する。 学校給食の試食会や施設見学について、周知方法や実施内容等を工夫して開催するなど、開かれた学校給食に向けた取組みを行う。 新調理所の整備について、平成29年度の冬休み明けの給食提供に向け、準備を進める。 	
平成29年度の実施状況	評価・反省点
○給食の食材に積極的に地場産物を取り入れ地産地消を推進した。	主食の米や、パンと麺の小麦を全て岩見沢産を使用した。また、野菜等も積極的に岩見沢産を使用した。
○栄養教諭が各学校へ赴き、小・中学校合わせて152学級（延べ196学級）で食に関する指導を実施した。	概ね予定の学級数を達成できた。また、調理員・農家・漁師などの協力を得た授業も実施できた。
○市民を対象に学校給食への理解を深めていただくため、試食会を4回開催した。（旧調理所：3回、新調理所：1回）	2月開催の新調理所での試食会から、調理作業の見学や説明を組み合わせた試食会が実施できた。
○給食費の未納対策について、現年度分は学校が行い、滞納繰越分は学校給食課が対応している。滞納繰越分については専門徴収員が戸別訪問を実施した。	滞納繰越分について、比較的容易に納める滞納者が減ってきている。今後も訪問督促等を粘り強く行う。
○新調理所の整備について予定の工期で完成し、その後供用開始に向けた準備を進め、冬休み明けから給食提供を開始した。	スケジュールどおり給食提供を開始できたが、新しい施設や設備に調理員が慣れるまで時間を要した。
今後の課題・取組の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> HACCPに基づいた食品の衛生管理を徹底するとともに、新鮮で安全な地元産の食材を積極的に活用し、安全・安心で子どもたちが健やかに成長できる学校給食に取り組む。 新調理所の見学スペースや研修室などを活用し、食育・試食会・施設見学等を充実する。 安全性を最優先とした食物アレルギー対応の充実。 訪問督促等の給食費未納対策の強化により、保護者負担の公平性の確保に努める。 	

平成29年度 岩見沢市教育行政点検評価表

施策番号	B-1	担当課	【 生涯学習・文化・スポーツ振興課 】
教育行政方針の分野・重点施策名	社会教育の推進 生涯学習の充実		
重点施策に関連する事務事業名	20) 市民の学び支援事業		

目的・概要	
<p>生涯学習センターを拠点として、「いわなびチャレンジスクール」や「いわみざわ市民大学」の開催など、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に学習機会の充実を図るとともに、生涯学習の情報発信、相談体制の充実、指導者育成に努め、市民の学習活動への支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全世代に向けた学習の場の提供、情報発信・相談体制・指導者育成。 ・いわみざわ市民大学の開催とそれに伴う実行委員会等の設置・運営。 ・児童・生徒を対象に、学習活動や体験活動（いわなびチャレンジ・スクール）を実施。 ・高齢者を対象とした社会参加意識の高揚を継続して進める。 	
平成29年度の達成目標	
<p>生涯学習センターを拠点に、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に学習機会の充実を図るとともに、学習情報や学習成果を生かせる場の提供に努め、市民の学習活動を支援する。</p>	
平成29年度の実施状況	評価・反省点
<p>○高齢者対象講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩見沢ことぶき学園 (11回実施、受講者92人) ・栗沢長寿大学 (11回実施、受講者83人) ・北村寿大学 (11回実施、受講者37人) 	<p>参加者の満足度は高い評価であった。社会参加の拡大、生きがい、仲間づくりの機会の場が提供できた。</p>
<p>○いわみざわ市民大学</p> <p>新規や若年層の市民の受講機会の促進を図るため、岩教大と連携した講義や企画講座委員の提案を取り入れ、「生命・健康」「まちづくり」「国際理解」「環境」4つの現代的課題を中心に講義内容の充実を図るなど、芸能やスポーツなど多種にわたったテーマを基に実施した。 (12回実施、受講者60人)</p>	<p>受講後のアンケートにおいて、多くの受講生が満足である回答であった。また、2回の公開講座と1回の課外授業は、受講生が企画・運営を行い、選定した講師、視察場所が実現し受講生自らの学習意欲を高める事ができた。</p>
<p>○いわなびチャレンジ・スクール</p> <p>子どもたちが、工作やスポーツ、陶芸、野外体験活動等を実施した。連携事業として教育大学岩見沢校の協力を得て今年度についても5回事業を実施。プログラムについては、学生が持つ個性や特技、知識を生かしながら、子どもたちが気軽に取り組める内容を企画実施した。 (25回実施、参加者総数637人)</p>	<p>学校では体験できないプログラムや科学実験、工作などの体験活動を通して、子どもたちの休日をより有意義なものとする事ができた。 体験活動の事業は重要であり、子どもたちの満足度も高まった。</p>
<p>○みんなで教育を考える日</p> <p>今年度から「いわなび」を会場に各世代間の交流を目的に実施した。関連事業としては、学校給食展、少年の主張などを実施し、教育講演会においては、北海道教育大学が推進しているアダプテッド・スポーツを通して市民みんなが共に生きることの大切さについて学んだ。 (各会場来場者 述べ523人)</p>	<p>実行委員会が運営し「誰もが輝けるまち、いわみざわ」をテーマに行った。「いわなび」を会場に初めて行ったことから最終の実行委員会では来年度へ向けての反省点、課題等が出された。</p>
今後の課題・取組の方向性	
<p>・市民の学び支援事業では、生涯学習の提供として学ぶ機会・参加者同士の交流など、講義内容を検討し充実を図る。</p>	

平成29年度 岩見沢市教育行政点検評価表

施策番号	B-2	担当課 【 生涯学習・文化・スポーツ振興課 】
教育行政方針の分野・重点施策名	社会教育の推進 芸術・文化活動の推進	
重点施策に関連する事務事業名	2 1) 文化のまちづくり事業 2 2) 地域文化振興事業 2 3) 郷土科学館管理運営事業	

目的・概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・心豊かな地域社会の形成を目指して、文化施設を活かした優れた芸術文化の鑑賞機会を提供し、地域文化の振興を図る。 ・個性豊かな市民文化の創造に向けて、自主的な文化活動が多彩に繰り広げられ、身近に芸術文化にふれあう機会を拡充する。 ・郷土資料の適切な管理と、一層の有効活用を図る。 	
平成29年度の達成目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民の要望に沿った様々な芸術鑑賞機会を提供し、参加者の満足度を高める。 ・市民の文化活動を支援し、市民が身近に文化に触れる機会を提供する。 ・北村農業資料館に変わる、北村郷土資料コーナーの開設及び岩見沢郷土科学館リニューアル計画策定に向けての概要を作成。 	
平成29年度の実施状況	評価・反省点
【文化のまちづくり事業】 ○クラシックコンサートや、和太鼓の演奏発表会などを実施。 10事業・集客数4,567人※前年度とほぼ同数	キタオンやまなみーるなどを会場に、市民に対し質の高い文化公演等を行うことができた。
【地域文化振興事業】 ○市民の文化祭の開催 ・岩見沢地区：展示作品666点、舞台発表937人、来場者数6,931人 ・栗沢地区：展示作品819点、舞台発表115人、来場者数1,931人 ○子ども文化祭の開催 英語暗唱大会28人、音楽発表会1,620人、展示発表1,336点	例年通り実施することができた。 なお、市民の文化祭岩見沢地区については、展示作品数、舞台発表者数がともにやや減ったものの、来場者数は増となった。
【郷土科学館管理運営事業】 ○「岩見沢市スポーツの歴史展」 ～駒澤大学附属岩見沢高校野球部と岩見沢農業高校レスリング部～ 観覧者数328人 ○「辻村もと子の生涯」～志文が生んだ樋口一葉賞作家～ 観覧者数651人 ○科学館リニューアルに向けて展示テーマの選定を行った。	「スポーツの歴史展」は教育大生のアイデア等を採用し、教育大学の地域プロジェクトと連携し実施。 「辻村もと子の生涯」は文化財保護委員と打合せを行いながら実施。また、図書館と連携し、図書館でも辻村もと子のイベントが行われた。
今後の課題・取組の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民要望の高い芸術文化事業の内容充実に努めるとともに、積極的な広報活動を展開し、集客数の更なる増を目指す。 ・市民の文化活動の発表機会や鑑賞機会を充実し、文化に対する意識の高揚を図る。 ・岩見沢郷土科学館リニューアル基本構想・基本計画を固める。収蔵庫拡張に向けた準備を進める。 	

平成29年度 岩見沢市教育行政点検評価表

施策番号	B-2	担当課	【 教育施設課 】
教育行政方針の分野・重点施策名	社会教育の推進 芸術・文化活動の推進		
重点施策に関連する事務事業名	24) 栗沢文化交流施設整備事業		

目的・概要	
<p>・老朽化が著しい栗沢文化センターと栗沢市民センター及び栗沢福社会館を統合し新たな栗沢文化交流施設を建築することで、地域住民の文化活動等を促進するほか、地域活性化、住民の交流促進を目的とする。</p>	
平成29年度の達成目標	
<p>・新たな栗沢文化交流施設の建築に向けた設計業務を行う。（2か年業務の1年目）</p>	
平成29年度の実施状況	評価・反省点
<p>○栗沢文化交流施設の建築に向けた基本設計業務を行う。 （2か年業務の1年目）</p>	<p>予定どおり実施できた。</p>
今後の課題・取組の方向性	
<p>・栗沢文化交流施設の実施設設計業務を行う。（2か年業務の2年目）</p>	

平成29年度 岩見沢市教育行政点検評価表

施策番号	B-3	担当課 【 生涯学習・文化・スポーツ振興課 】
教育行政方針の分野・重点施策名	社会教育の推進 スポーツ活動の推進	
重点施策に関連する事務事業名	25) 健康・スポーツ振興事業 26) オリンピック・パラリンピック推進事業	

目的・概要	
<p>・市民の健康づくりと生きがいづくりを促進するため、様々なスポーツ事業を実施する。また、各種スポーツの普及・振興と競技力の向上を図るため、スポーツ団体の活動や全国大会出場及び全道大会等の開催及び将来を担うアスリートの活動に対する支援を行う。</p> <p>・2020年東京パラリンピックの開催に向け、パラリンピック競技の事前合宿誘致に取り組むとともに、パラリンピアン等との交流を通じて、障がい者スポーツに対する市民の理解と関心を高める。</p>	
平成29年度の達成目標	
<p>・スポーツ教室や大会の開催及び幅広い年齢層の参加者の獲得を図る。</p> <p>・奨励金・補助金を交付し、全国大会出場や全道大会等の開催を支援する。</p> <p>・将来を担うアスリートの活動支援を行う。</p> <p>・パラリンピック合宿に伴う補助制度の新設など誘致施策を検討するとともに、関係競技団体等に対する誘致交渉を行う。</p> <p>・障がい者スポーツ体験イベントの開催の支援を行う。</p>	
平成29年度の実施状況	評価・反省点
<p>○スポーツ教室や各種大会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングマラソン大会（3コース・162人参加） ・楽しいキッズスポーツ教室（10回実施・175名登録） ・市民歩け歩け大会（3回実施・124人参加） ・歩くスキー教室・集い（各1回実施・81人参加） ・おとなの体力測定会（1回実施・21人参加） ・小学生バドミントン教室（1回実施・58名参加） 	<p>屋外でのスポーツ事業については天候に恵まれ、多くの方に参加いただくことができた。特に、ウォーキングマラソン大会の参加者については、前年より29人増となった。</p>
<p>○報奨金・補助金交付による支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国・全道大会の開催（7回、補助金交付額400千円） ・全国大会出場（9団体・66個人、報奨金交付額1,980千円） ・将来を担うアスリートに対する支援（6個人・700千円） 	<p>全国大会出場のほか、平成29年度に創設したアスリート奨励金制度に基づき、それぞれ報奨金を交付した。</p>
<p>○各種スポーツ団体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ団体への支援（3団体、補助金交付額2,826千円） ・教育大学岩見沢校と連携し、ドイツ発祥のボールゲーム教室の「バルシューレ」をキッズスポーツ教室で実施。（2回） 	<p>キッズスポーツにおけるバルシューレについては、教育大の全面協力のもと実施することができた。</p>
<p>○パラリンピック合宿誘致活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カナダパラリンピック委員会の視察を受け入れたが、合宿の実現には至らなかった。 ・ウィルチェアーラグビー日本代表の合宿を行った。 <p>○障がい者スポーツ体験イベントの開催支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3回アダスポ！岩見沢の開催に係る補助金の交付（補助金交付額500千円） 	<p>カナダの合宿誘致には至らなかったが、ウィルチェアーラグビー日本代表合宿では床清掃を通じ、市民と選手の交流を図ることができた。</p>
今後の課題・取組の方向性	
<p>・教育大岩見沢校やスポーツ推進委員等との連携を強化し、スポーツ事業の内容充実に向け、参加者数の拡充とスポーツ意識の高揚を図る。</p> <p>・パラリンピック競技の合宿誘致及び受入について各競技団体等と話し合いを進めるとともに、2020東京パラリンピックに向け、パラスポーツに対する市民の理解を深める。</p>	

平成29年度 岩見沢市教育行政点検評価表

施策番号	B-3	担当課	【 教育施設課 】
教育行政方針の分野・重点施策名	社会教育の推進 スポーツ活動の推進		
重点施策に関連する事務事業名	27) スポーツ施設管理運営事業		

目的・概要	
<p>利用者が安全に安心して快適にスポーツを楽しむことができるよう、施設の環境整備を図る。</p>	
平成29年度の達成目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度を活用し管理運営を実施 ・体育協会からの要望や、緊急性を有するものから逐次計画的に施設修繕等を実施 	
平成29年度の実施状況	評価・反省点
○指定管理者制度導入施設では、モニタリングを活用し、施設の効率的・効果的な管理運営と市民ニーズに対応した、施設の充実や環境整備を行った。	定期的にモニタリングを実施し施設状況を把握することで、施設の環境整備を行うことができた。
○各施設の修繕等については、利用者へのサービスに支障がないよう施設利用状況を把握し、計画的に行った。	予定どおり実施できた。
今後の課題・取組の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度導入施設において、今後もより市民に親しまれる施設運営と市民ニーズに対応した各種自主事業の実施により、一層の利用促進を図っていくよう努める。 ・施設の環境整備においては、引き続き経年劣化による修繕・改修実施に向け、計画的に予算組みをしていくことが課題である。 	

平成29年度 岩見沢市教育行政点検評価表

施策番号	B-4	担当課	【 図書館 】
教育行政方針の分野・重点施策名	社会教育の推進 図書館運営の充実		
重点施策に関連する事務事業名	28) 図書館活動運営事業 29) ブックスタート事業		

目的・概要	
<p>・図書、記録、資料などの収集・保存に努め、市民が必要とする知識や情報を提供するとともに、多彩なイベントにより幅広い世代に対応した読書普及活動を展開する。</p> <p>・「いわみざわの子ども読書プラン」に基づき、子どもたちが本に触れる機会を広げるとともに、ボランティアの育成と合わせて、すべての赤ちゃんに絵本を贈るブックスタート事業の充実に努める。</p>	
平成29年度の達成目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・全館図書情報の共有と地域図書サービス拠点活用等による利便性の向上 ・職員のスキルアップによる利用者サービス向上と幅広い対象に向けたサービスの研究 ・幅広い世代に向けた読書普及活動 ・学校や学校図書館、ボランティアと連携した子どもの読書の推進 ・ブックスタートパック配布率の100%達成とフォローアップ事業の充実 	
平成29年度の実施状況	評価・反省点
○各館の地域性に合わせて図書資料を収集するとともに、地域図書サービス拠点の活用や図書館システム更新により利便性の向上を図った。	業務に大きな支障は生じなかったが、蔵書整理に遅れが見られた。
○利用者サービス向上のため、司書の専門研修を計画的に行った。また、障がい等により読書に支障がある人への音声図書サービスの試行や高齢者に対する読み聞かせ研修など、幅広い対象に向けたサービスの実施に向け実績を重ねた。	司書全体の能力向上のためには、研修テーマの精査が必要。
○市民と連携した郷土作家研究や市内高校生との協力事業に取り組むなど、幅広い年代に向けた読書普及事業を実施した。	次年度も引き続き実施したい。
○子ども向けイベントの実施、子どもの読書を支援する読書ノート等の配布、司書が学校を訪問するブックトーク等を継続するとともに、学校図書館を通し市立図書館の本を子どもたちに貸し出す仕組みを整備した。	学校図書館連携による図書貸出は2校にとどまった。次年度は、実施校の更なる拡大に取り組む。
○対象の親子全員にブックスタートの絵本を贈った。また、健康づくり推進課・子ども課との協働で実施するベビカフェや、親子を対象とした絵本の読み聞かせの定期開催などのフォローアップ事業を行った。	予定どおり実施できた。次年度も引き続き実施したい。
今後の課題・取組の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な蔵書管理と円滑な図書整備 ・司書のスキルアップと研修の充実 ・高齢者や図書館利用に障がいのある人を対象としたサービスの拡大と環境整備 ・学校図書館を通じた市立図書館蔵書の貸借や出張図書館（ブックカフェ）等、学校と連携した子ども読書支援の継続、拡大 ・ブックスタート事業の継続 	

平成29年度 岩見沢市教育行政点検評価表

施策番号	C-1	担当課	【 子ども課 】
教育行政方針の分野・重点施策名	子育て支援の推進 子ども・子育て支援の充実		
重点施策に関連する事務事業名	30) 子ども・子育て支援事業 31) 産前産後ヘルパー事業 32) あそびの広場運営事業		

目的・概要	
<p>子どもたちが健やかに成長し、楽しく子育てができるまちを目指して、「岩見沢市子ども・子育てプラン（平成27年度～31年度）」に基づき、困った時に必要な支援を受けられる「安全」、将来を見通せる子育て支援サービスを受けられる「安心」、成長を喜び、子育てが楽しくなる「笑顔」の3つの視点から各事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て会議における「岩見沢市子ども・子育てプラン」の進行管理等 ・常設型子育て親子ひろば「ひなたっ子」の運営と地域親子ひろばの支援 ・ショートステイ（子育て短期支援事業）の実施 ・トワイライトステイ（子育て支援夜間養護等事業）の実施 ・産前産後ヘルパーの派遣 ・一年を通じて天候を気にせず楽しめる全天候型の「あそびの広場」の運営 	
平成29年度の達成目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て会議における「岩見沢市子ども子育てプラン」の進行管理と、子ども子育てに関する必要な事項の審議を行い、事業等に反映する。また、専門部会を設置し、発達に不安を抱える子どもの成長記録を登載する(仮)発達支援ファイルの策定に向けた協議を進める。 ・「ひなたっ子」において、子育て中の親子の交流の場を提供し、楽しい育児を支援する。 ・保護者が一時的に養育が困難となった場合や夜間及び休日に不在となり、家庭において養育が困難となった場合に、児童を養護施設及び里親宅において養育するショートステイやトワイライトステイを実施することにより、保護者の負担を軽減する。 ・ホームヘルパーを派遣し、産前産後の身体的・精神的負担を軽減する。 ・あそびの広場において、市内外から年間を通じて52,700人を集客する（指定管理者：振興いわみざわ）。 	
平成29年度の実施状況	評価・反省点
○年2回開催する「子ども・子育て会議」において、子ども・子育て支援事業の進捗状況のほか、子ども・子育てプランにおけるニーズ量や確保策の中間見直し作業を行った。	「子ども・子育て会議」の審議により適正にプランの進行管理が行われている。
○専門部会委員のほか、特別委員として学校関係者等を招聘した中で、(仮)発達支援ファイルの作成方針等を決定するほか、配布対象者や配布時期など具体的協議を行った。	ファイルの全市的な普及とともに、家族や支援者が負担なく継続的に運用されるよう検討が必要である。
○「ひなたっ子」において、民生委員児童委員をはじめとするボランティアの協力のもと、子育て中の親子の交流の場の提供と交流の促進を実施。 ・実績 ひなたっ子：開設196日、利用者数14,379人 地域親子ひろばの支援：13回	昨年の利用実績とほぼ横ばいであり、利用者ニーズに対応できている。

平成29年度の実施状況	評価・反省点
<p>○市内の児童養護施設「光が丘学園」及び里親にショートステイ及びトワイライトステイを委託し実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショートステイ実績：延利用者35人、113日間の利用 ・トワイライトステイ実績：延利用者11人、11日間の利用 	<p>利用者の増加に伴い、里親委託など受け皿を拡大し事業を実施できた。委託先の確保と両事業のPRを強化する。</p>
<p>○市内の介護事業者7社と委託契約を行いヘルパー派遣を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績 H29：90人、492回、976時間 H28：86人、458回、905時間 H27：71人、559回、1,078時間 	<p>参入事業者数や受入条件と利用者に対して応え得るニーズとのバランスを鑑み、今後、利用者評価の実施を検討していく必要がある。</p>
<p>○あそびの広場を年間に339日開放し、56,528人の利用があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用実績 H29 56,528人 (市内 23,200人 市外 32,010人 団体利用除く) H28 56,360人 (市内 29,647人 市外 25,461人 団体利用除く) 	<p>創意工夫を凝らした自主事業等の展開により、目標値を超える利用者を集客することができた。市内利用者増に向け自主事業等の取り組みを強化する必要がある。</p>
今後の課題・取組の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ・こども・子育てひろば「えみふる」の構成部門であるひなたっ子やあそびの広場を起点に、利用者がいつでも気軽に相談でき、支援につなげられる環境の提供に努める。 ・子育て支援施策の更なる充実のため、子どもを預けたい人と預かることのできる人が会員となって支えあうファミリー・サポート・センター事業を実施する。 ・(仮)発達支援ファイルについて、平成31年度からの運用開始に向け、専門部会における協議を進めるとともに、関係機関と連携し支援体制を構築する。 	

平成29年度 岩見沢市教育行政点検評価表

施策番号	C-1	担当課	【 子ども課 】
教育行政方針の分野・重点施策名	子育て支援の推進 子ども・子育て支援の充実		
重点施策に関連する事務事業名	33) 栗沢認定こども園運営事業 34) 保育所入所・幼稚園入所運営事業 35) 病児・病後児保育運営事業		

目的・概要	
<p>子どもたちが健やかに成長し、楽しく子育てができるまちを目指した「岩見沢市子ども・子育てプラン（平成27年度～31年度）」に基づき、困った時に必要な支援を受けられる「安全」、将来を見通せる子育て支援サービスを受けられる「安心」、成長を喜び、子育てが楽しくなる「笑顔」の3つの視点から各事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗沢認定こども園の運営管理 ・認可保育所の入所と特別保育等の実施及び幼稚園入所運営の実施 ・病児・病後児保育の実施 	
平成29年度の達成目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・保育所と幼稚園を一体的に運営する栗沢認定こども園の管理を行い、栗沢地域の子育て支援や地域交流の活性化を図る。 ・認可保育所利用に係る事務、法人立保育園に対する運営費の支弁や特別保育など安定した保育環境を維持する。また、子ども・子育て支援新制度に移行した私立幼稚園に対する運営費を負担する。 ・子どもの病気の回復期まで、保護者が仕事等により家庭で保育ができない場合に専用施設で一時的に保育を行う病児・病後児保育を実施し、仕事と育児の両立を支援する。 	
平成29年度の実施状況	評価・反省点
<p>○保育所と幼稚園を一体的に運営する栗沢認定こども園の運営管理を指定管理者に委託し、保育と幼児教育を一体的に行った。</p> <p>○園庭等外構整備が終了した。</p>	<p>地域住民等の理解と協力により、栗沢地区の教育・保育環境の整備が図られた。</p>
<p>○認可保育所の利用を希望する児童の入所事務を行った。</p> <p>○今年度についても待機児童は生じなかった。</p> <p>○保育料基準額表を減額・細分化を実施するとともに、小学校3年生の子から数えて第3子目以降及び同時入所の第2子に係る保育料を無料とした。なお、平成29年度までは、経過措置として18歳未満の子から数えて第3子目以降の保育料についても引き続き無料とした。</p> <p>○認可保育所16園、定員1,084人、平成30年3月初日の入所人員1,197人</p> <p>○特別保育等：延長保育13園、一時預かり2園、休日保育1園、特定保育1園、障がい児保育6園</p> <p>○新制度に移行した私立幼稚園3園の定員435人、平成30年3月初日の入所人員448人。なお、幼稚園については第3子目以降保育料無料化の対象となる1子目児童は小学校6年生とした。</p>	<p>市独自の保育料軽減について、見直しを行い、保護者の負担軽減を図ることにより、子育て世代の支援ができた。</p>

平成29年度の実施状況	評価・反省点
○病児保育：岩見沢市立病児保育施設（9条西7丁目1-3） ○病後児保育：東保育園病後児ルーム（東町1条8丁目932-67） 登録児童数：203人 延べ利用児童数（病児211人、病後児22人） 利用料金 半日（5時間未満）1,000円 1日（5時間以上）2,000円 ※給食費等別途 ※生活保護及び市民税非課税世帯無料	病児・病後児保育の実施により、保護者の子育てと就労の両立を支援することができた。 病後児の利用が少ないため、回復期における病後児保育の重要性についてPRに努める。
今後の課題・取組の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ・栗沢認定こども園については、指定管理者との連絡調整を引き続き行い地域の保育等の環境整備を行う。 ・0歳児から2歳児の途中入所希望が増加しており、その受け入れ体制について、各保育園と調整を図るとともに、保育士不足の解消に向けた取組が必要である。 ・保育料の軽減について、国・道の制度改正も踏まえ、引き続き検証を行う。 ・病後児保育施設の重要性について理解してもらうための取組が必要である。 	

平成29年度 岩見沢市教育行政点検評価表

施策番号	C-2	担当課	【 子ども課 】
教育行政方針の分野・重点施策名	子育て支援の推進 子育て相談体制の充実		
重点施策に関連する事務事業名	36) 子ども・子育て支援事業 37) 児童療育事業		

目的・概要	
<p>子育てに喜びや楽しみを感じ、安心して子どもを育てることができるよう、こども・子育てひろば「えみふる」を中心に、いつでも気軽に子育てや発達に関する相談や支援を受けられる環境づくりに取り組む。</p> <p>発達に不安をもつ子どもや保護者に対し早い時期から相談に応じ、不安を解消するとともに、必要に応じて療育訓練につなぎ、成長を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターを中心とした相談等の実施 ・子ども発達支援センター（つみき園に委託）による療育相談等の実施 	
平成29年度の達成目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターを中心に子育てや子どもの発達に関する相談や情報提供、各種講座を実施することにより、子育てに対する負担感・不安感を軽減する。 ・子ども発達支援センターの療育相談により保護者負担の軽減と早期療育をすすめる。 ・「えみふる」の各構成部門が連携し、生まれてから高校を卒業するまでの間、切れ目のない相談や支援を受けられることができる体制を構築する。 	
平成29年度の実施状況	評価・反省点
<p>○子育て支援センターによる相談事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て相談（保育士）1,099件 ・家庭・児童相談（家庭相談員・児童相談員）888件 ・おしゃべりルーム（保育士・児童相談員）44回、1,007組、2,029名 ・小児科医による子育て相談（小児科医）9回、178組、359名 <p>○えみふる構成部門連携 相談・支援連携件数 812件</p> <p>○あそびの広場「子育て相談」 相談件数 26日63件</p>	<p>子育て支援センター事業の参加人数及び相談件数については、ほぼ横ばいである。えみふる構成部門における相談・支援連携件数は、発達支援に係る相談支援が増加し全体で昨年の1.6倍に増加している。</p>
<p>○子ども発達支援センターによる相談・支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録人数 就学児23名、未就学児343名 計365名 ・相談・支援件数 就学児48件、未就学児857件、成人1件 計906件 	<p>えみふる構成部門をはじめ、幼稚園や保育園、小学校等との連携により、早期療育が図られているが、療育関係者間の情報共有機会を充実させ、より包括的な支援に取り組む必要がある。</p>
今後の課題・取組の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、子どもたちが健やかに成長し、保護者が子育てに喜びを感じることができるよう、子育て支援センターを中心に子育てに関する相談・助言等や親子の交流事業を実施するほか、「えみふる」内にて子ども発達支援センター事業を直営で実施することにより、関係機関との連携を図り、早期発見・早期療育を含めた総合的な子育て支援を行う。 ・保健センターと連携し、発達の遅れが見受けられる幼児に対し集団の場を提供することで、保護者と発達状況の共有を図り、必要な療育支援につなげるこどもサポート「うずら」を開設する。 	

平成29年度 岩見沢市教育行政点検評価表

施策番号	C-3	担当課	【 子ども課 】
教育行政方針の分野・重点施策名	子育て支援の推進 放課後児童クラブの充実		
重点施策に関連する事務事業名	38) 留守家庭児童対策事業 39) 児童厚生施設改修事業		

目的・概要	
<p>保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校低学年児童に対し、安全で健やかに過ごすことができるように、児童館事業や放課後児童クラブの充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館を中心に市内15か所で放課後児童クラブを運営 ・民間の放課後児童クラブ1か所の運営を支援 ・「岩見沢市子ども・子育てプラン（平成27年度～31年度）」に基づく、平成30年度からの対象学年の拡大に向けた受入体制の整備 	
平成29年度の達成目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブが、児童にとって安全・安心で楽しい居場所となるよう、老朽施設の計画的な修繕・改修を進めるほか、特色ある取組を行う民間児童クラブの経営の安定化を図る。 ・児童が適正な規模のもとで、安全に活動できるよう美園児童館の増築・耐震改修工事を実施する。 ・平成30年度から実施の対象学年の拡大に向け、小学校余裕教室等に必要な施設や設備の整備を行うとともに、高学年児童の活動や実施事業等を検討する。また、児童の遊びや生活を指導する職員を確保する。 	
平成29年度の実施状況	評価・反省点
○保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校低学年の児童に対し、登録制により児童館等で児童の受入れを行った。また、保護者の就労等により延長保育を必要とする児童に対し、開設時間を1時間延長し、18時から19時まで受け入れを行った。	日曜祝日を除く、年293日開設し、1日平均約400人の受け入れを行い、児童に遊びと生活の場を提供することができた。また、延長保育は1日平均に換算すると47人が登録し、12人が利用し、ニーズに対応することができた。
○特色ある取組を行う民間の放課後児童クラブ（1団体）に対し補助金を交付した。 （箇所数：1か所、補助金の額：合計6,688千円）	補助金を交付することで、民間クラブの経営の安定化を図ることができた。
○美園児童館の耐震に対する安全性を確保するとともに、児童が適正な規模のもとで、安全・安心して活動できるよう大規模改修工事と増築工事を一体的に実施した。	平成30年度からの放課後児童クラブの高学年拡大時に対応した施設整備を行うことで、次年度以降適正な基準で受け入れできる見通しとなった。
○日の出、東、幌向、栗沢の4小学校の余裕教室と地域施設を放課後児童クラブとして整備し、必要な備品等を購入するほか、従事する職員として有資格者12名、補助員15名を確保した。また、児童館等職員で構成する検討委員会において、高学年の活動内容や指導・支援にあたっての育成指針等を策定した。	平成30年度からの実施に必要な準備を行うことができた。高学年児童の活動内容や育成支援については、今後においても検証していく必要がある。

今後の課題・取組の方向性

- ・放課後児童クラブの対象学年の拡大に伴い、適正な規模のもとで児童が安全に活動できるよう鉄北放課後クラブを新たに整備するとともに、中央小学校の完成に合わせて稲穂児童館を移転改築する。
- ・高学年児童の主体性・社会性の育成や満足度を高める活動を推進していく視点から、活動内容や指導・支援のあり方等について検証する。

平成29年度 岩見沢市教育行政点検評価表

施策番号	C-4	担当課	【 子ども課 】
教育行政方針の分野・重点施策名	子育て支援の推進 青少年健全育成の充実		
重点施策に関連する事務事業名	40) 青少年対策事業 41) 青少年育成事業		

目的・概要	
<p>青少年非行の早期発見、早期指導に努めるとともに、非行を招く環境の改善に取り組む。また、小中高等学校における生徒指導上の諸問題を共有し、生徒指導の充実を図る。</p> <p>そのほか、青少年が様々な人との交流を通じて、正しい判断力を持ち、社会参加することができるよう成長を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年センターを中心とした、補導員（学校・地域）や環境浄化モニターによる街頭補導活動や環境浄化活動の実施 ・小中高等学校との連携による生徒指導に関する情報共有や対策等の協議 ・地域子ども会育成会連合会事業や少年の主張等健全育成事業の実施 ・青少年問題協議会による情報モラル教育の推進 	
平成29年度の達成目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の健全育成及び非行防止を推進するため、青少年センターが中心となり、青少年問題協議会や小中高生徒指導連絡協議会と連携し、生徒指導上の諸問題について研究協議し、生徒指導の充実を図る。 ・少年の主張や子ども会事業など青少年育成事業のほか、学校と連携しメディアリテラシーの向上に取り組むなど、青少年の自立と社会参加を促す。 	
平成29年度の実施状況	評価・反省点
○通常及び特別補導、街頭補導活動、地区補導員連絡協議会及び町会育成協議会での情報交流。	学校をはじめ、地域や各関係機関と連携し、組織的な活動を推進することで、青少年の非行防止に努めることができた。
○立入調査員や環境浄化モニターによる調査（携帯電話販売事業者、有害図書類、カラオケボックス等の調査活動等）の実施や広報紙の学校等への配布。	
○生徒指導研究会、小中高生徒指導連絡協議会、地区補導員、高等学校生活指導担当等との連携。	
○地域子ども会育成会連合会による、市内の児童を対象にした交流事業の実施（キャンプ、野球大会、能楽体験、書初大会、かるた大会）	各事業を通じて、子どもたちの自主性や社会性を育むことができた。また、チラシ内容の更新やSNS等を通じて事業PRに努めたが、参加者の増加を図るため、事業の日程や内容の精査が必要である。
○少年の主張、発明工夫展など、少年が自ら考え行動するきっかけとなる事業の実施	
○リーダー養成のための研修会への派遣 （小学生：子ども会リーダー研修会、中学生：青少年の体験活動推進事業）	
○善行少年・青少年健全育成功労者表彰の実施	相手の気持ちを考える大切さや受け止め方の相違など非対面コミュニケーションの難しさを学ぶ機会を提供できた。今後、全市的な取組として実践できるよう検討が必要である。
○中央小をモデル校とし、6年生69名を対象にメディアリテラシーに関するワークショップを実施した。	

今後の課題・取組の方向性

- ・青少年の非行防止を図るため、青少年問題協議会や小中高生徒指導連絡協議会と連携し、引き続き情報モラル教育の推進を図るとともに、全市的な指針として「携帯・スマホの利用のきまり」を策定する。
- ・各種健全育成事業については、より有益で効果的な事業実施のため、事業メニューの工夫や事業の再構築を行うとともに、事業PRを継続的に行い、参加者増を図る。

第4章 学識経験を有する方からの改善に向けたご意見

《学校教育の推進》

新しい時代に対応できる力の育成

教育指導振興事業について

コミュニティスクールの推進について、学校運営協議会による学校のあり方についての話し合いだけでなく、学校を地域資源と捉えてどのように地域に還元できるかという視点を持って進めてもらいたい。

子どもがかがやく学校活動支援事業について

学校独自の魅力づくりに寄与している事業であり、多彩な取組みを今後も継続してもらいたい。また、各学校の情報発信を強化して、特徴的な取組みをもっと地域に紹介し、学校活動に興味を持ってもらう仕組みづくりを進めてもらいたい。

豊かな人間性と健やかな体を育成する教育の推進

学校図書館資源共同利用事業について

たくさんの情報の中から取捨選択することが出来る力の育成に向けて、辞書や百科事典などの紙媒体、インターネット検索など様々な環境で得られる情報の比較など、生きていくうえで必要となる情報収集の仕方について、学ぶことの出来る機会を整備してもらいたい。

子どもの育ちと学びを支える教育環境の充実

中央小学校校舎等改築事業について

移転する中央小学校も含め、安全安心な学校づくりに向けて、防犯カメラや横断歩道などを充実させて、危険個所の対策を進めてもらいたい。

緑陵高等学校の教育の充実

学校管理事業について

生徒によるボランティア活動や、課題研究を通じたアクティブラーニングなど、今まで学校が進めてきた教育活動の成果が現れており、これからも隣接する教育大学などの地域資源と連携を広げるなど、市立の高校である存在価値を高めてもらいたい。

学校給食の充実

学校給食共同調理所運営事業について

学校給食における地産地消を進めていくためには、岩見沢産の食材を給食に用いるだけでなく、栽培履歴を活用した食材の成り立ちについての授業や、新しい施設見学を利用した食育の授業など様々な方法で、地産地消に関して考える機会を児童生徒に与えてもらいたい。

《社会教育の推進》

芸術・文化活動の推進

地域文化振興事業について

市民の文化祭について、新しく設立された団体やサークルなどにも発表の機会が与えられるような仕組みづくりを検討してもらいたい。

栗沢文化交流施設整備事業について

栗沢文化交流施設の設計に当たり、障がい者の立場に立った本当の意味でのユニバーサルデザインを念頭に進めてもらいたい。

スポーツ活動の推進

生涯スポーツの推進について

老若男女、障がいの有無を問わず、生涯スポーツを楽しむことのできる環境整備に向け、多種の事業を実施しているが、まだまだ普及が十分であるとは言えないため、今後も引き続き進めてもらいたい。

図書館運営の充実

図書館活動運営事業について

図書館の利用者の増、貸出冊数の増や利用率の低い本の活用に向けて、期間ごとに設けたテーマに沿って、司書の方々が選書してまとめたものを貸し出すなどの企画を検討してもらいたい。

《子育て支援の推進》

子ども・子育て支援の充実

保育所入所運営事業について

0歳児保育について、利用ニーズに対し、受け入れ人数が少ないように感じられるため、出生数とのバランスを見極めながら、適正な受け入れ体制の整備を検討してもらいたい。

子育て相談体制の充実

子ども・子育て支援事業について

発達に不安のある子どもに対する支援の記録を記載してまとめる発達支援ファイルの導入について、関係機関との情報共有の点からもメリットがあるため、実態に即した誰でも使い易いものにしてもらいたい。

青少年健全育成の充実

青少年育成事業について

児童のメディアリテラシーの向上に向けた授業について、緑陵高校情報コミュニケーション科と連携を図りながら、双方が学ぶことのできる機会を検討してもらいたい。

I はじめに

教育は、未来に生きる人間を育てることを通して、未来を創造する営みです。

子どもの可能性を最大限に広げ、伸ばし、より豊かな人生を過ごせるように導いていくことが、教育の役割です。また、子どもたちが夢や希望を描き続け、自分らしさを発揮して、将来に向けて自己実現を図り、社会に貢献する資質や能力を身に着けさせることが教育に求められています。

そのことを念頭に置いて、岩見沢市教育大綱に基づき、市民の信頼に応える温かい、心のこもった教育行政を推進してまいります。

学校教育につきましては、「子どもを大切に作る岩見沢の教育づくり」に向けて、授業改善によって多くの学校課題が改善されることを念頭に、子どもの自ら学ぶ力を育成するために「授業づくりのまち岩見沢」の実現を図ってまいります。

社会教育につきましては、「生涯にわたって主体的に学ぶ環境づくり」に向けて、生涯学習の場を大切にし、図書館を含め、芸術、文化、スポーツの振興や推進に努めてまいります。

子ども・子育て支援につきましては、「笑顔で子育てできるまちづくり」に向けて、「えみふる」の活用推進によって子ども同士が触れ合い、親同士がつながり合える機会を充実させるとともに、各支援センターが連携して、相談や支援が気軽に受けられる体制づくりを進めてまいります。

これより、本年度の施策の概要について述べてまいります。

II 学校教育の推進

はじめに、「学校教育の推進」についてです。

1 新しい時代に対応できる力の育成

1点目は、「新しい時代に対応できる力の育成」についてです。

子どもが自ら未来を切り開いていくために必要な、確かな学力の定着を図ってまいります。

そのため、学校で統一した授業スタイルや学習規律を確立し、授業改善と学力向上の土台となる安定した学級集団づくりに力点を置くとともに、小中連携の一層の推進と家庭学習の習慣化を図り、全ての子どもの学力を保障してまいります。

また、学校が企画・立案した学力向上対策などの事業を支援してまいります。

I C Tの活用を通して、高度情報化社会に適応した人材の育成を図るとともに、外国語指導助手を活用し、英語教育の充実を図ってまいります。

さらに、大学の教員による出前授業や協力授業など、北海道教育大学岩見沢校との連携を図った教育活動を推進してまいります。

2 豊かな人間性と健やかな体を育成する教育の推進

2点目は、「豊かな人間性と健やかな体を育成する教育の推進」についてです。

意図的な仲間づくりにより自尊感情・自己肯定感を育成する、ピアサポートの取組を推進してまいります。

また、子どもたちの豊かな感性と想像力を育むため、体験活動や読書活動の充実を図ってまいります。

さらに、積極的な生徒指導に努めるとともに、道徳教育を推進し、命を大切にする心や他人を思いやる心、美しいものや自然に感動する心、礼節やモラルを育てる教育を充実し、豊かな人間性を育ててまいります。

健やかな体の育成のために、すべての学年で新体力テストを実施し、体育の授業改善と、体力づくりの取組を通して、体力向上や運動の習慣化を推進してまいります。

また、薬物乱用防止教育や防災教育の充実を図り、自らの判断で自分の命を守ることのできる力を養ってまいります。

3 育ちと学びを支える教育環境の充実

3点目は、「育ちと学びを支える教育環境の充実」についてです。

「岩見沢市いじめ防止基本方針」に基づいて整備した、「岩見沢市いじめ問題対策連絡協議会」等の組織や、「教育支援センター」の機能の充実を図り、いじめや不登校の問題をはじめ、悩み・不安を持つ子どもや保護者、学校を支援してまいります。

また、子ども一人一人の発達を保障する特別支援教育、将来の生き方や望ましい職業観・勤労観を育むキャリア教育を一層推進するとともに、塾との連携による土曜学習会、囲碁の授業、長期休業中の「学び合い広場」など、多様な学ぶ場と機会を提供してまいります。

教育研究所では、「確かな学力の育成」のための効果的な授業の研究を進め、学力向上、教師の資質向上、地域や大学との連携の拠点として、養成、育成、研修、研究の機能を一層高めてまいります。

さらに、児童生徒の減少が見込まれる将来においても、適正な規模による学校教育が行われるよう、検討を進めてまいります。

また、子どもたちの安全を確保するため、引き続き耐震化未実施の学校の整備を進めてまいりますとともに、学校施設や設備の整備改修を行い、教育環境の充実を図ってまいります。

4 信頼と期待に応える開かれた学校づくり

4点目は、「信頼と期待に応える開かれた学校づくり」についてです。

「授業づくりのまち岩見沢」として、子どもたちが楽しく、主体的に学ぶ授業の創造に向け、各校が自主的に行う公開研究会等を支援してまいります。また、教師の実践力を高めることにより、教師自身の肯定感を高め、働き方の見直しを進めるとともに、「教えるプロ」を育てるため、各種研修会を実施し、資質の向上を図ってまいります。

学校関係者評価を行い、保護者や地域住民の声を教育活動に積極的に反映させてまいります。

子どもの安全を守るために、児童見守りシステムの利用拡大や地域セーフティネットづくりを今後も進めてまいります。

さらに、子どもに望ましい学習・生活・運動習慣、食習慣などを身に付けさせるために、「早寝・早起き・朝ごはん運動」や「家庭での5つの約束」を基本とした取組みを進めてまいります。

子どもの学びの連続性・継続性を大切にした教育指導を進めるため、各校種間での一層の連携・交流を図ってまいります。

5 緑陵高等学校の教育の充実

5点目は、「緑陵高等学校の教育の充実」についてです。

市立高校として、地域の良さを学び地域社会の発展に貢献できる人材育成を目指し、家庭や地域社会と連携を図りながら、創意工夫に富んだ質の高い普通教育及び商業教育を提供してまいります。

また、普通科「普通コース」と「スポーツ総合コース」、情報コミュニケーション科それぞれの特色を生かし、より選択幅の広い教育課程の編成・実施により、生徒の学力、多様な興味・関心に応じた教育活動の充実を図り、活力と特色ある学校づくりを進めてまいります。

6 学校給食の充実

6点目は、「学校給食の充実」についてです。

整備を進めております新調理所が来年1月に供用を開始します。HACCPに基づいた食品の衛生管理を一層徹底するとともに、地元の食材を積極的に活用し、充実した献立をすべての学校に適温で提供し、子どもたちが安全・安心で楽しく健やかに成長できる学校給食に取り組んでまいります。

食育の推進につきましては、新調理所を利用した授業を実施するなど、子どもたちが食に関する正しい知識を習得し、望ましい食習慣を身につけるよう栄養教諭等による食育の充実に取り組んでまいります。

食物アレルギー対応につきましては、これまでの牛乳や主食に加

え、副食についても調理所で調理したアレルギー対応食を提供して、すべての子どもたちがともに給食時間を楽しく過ごせるよう、子ども命を守るためにも、学校、家庭と連携を図ってまいります。

さらに、市民が学校給食を身近なものとして感じ、理解を深めていただけるよう、新調理所の機能を生かし、定期的な試食会や施設見学など、開かれた学校給食に向けた取組みを進めてまいります。

III 社会教育の推進

次に、「社会教育の推進」についてです。

1 生涯学習の充実

1点目は、「生涯学習の充実」についてです。

市民が生きがいのある豊かな人生を送るため、生涯を通じて充実した学習活動ができるよう、生涯学習センターを拠点として「いわなびチャレンジスクール」、「いわみざわ市民大学」、「高齢者対象講座」の開催など、子どもから高齢者までの全世代を対象に、多様なニーズに応えた学習機会の充実に努めてまいります。

また、人材バンク登録者等による学習成果を生かした講座や「みんなで教育を考える日」の事業実施など、自主的な学習活動と社会参加の促進を図り、生きがいや地域づくりにつながる活動を支援してまいります。

2 芸術・文化活動の推進

2点目は、「芸術・文化活動の推進」についてです。

豊かな心を育み、潤いと活力に満ちた地域社会を形成するために、芸術文化は重要な意義を持っています。誰もが芸術文化を身近に感じ充実した文化活動ができるよう、岩見沢市絵画ホール・松島正幸記念館での企画展や「市民の文化祭」の開催など、岩見沢文化連盟等との連携を図りながら、芸術文化の鑑賞機会や発表機会の充実に努めるとともに、文化施設の安全で快適な環境づくりに取り組んで

まいります。

また、郷土の歴史文化に対する理解と関心を深め、ふるさと意識の高揚を図るため、指定文化財や郷土芸能の保存・継承と活用に努めるとともに、岩見沢郷土科学館の展示方法等を見直すリニューアルに向け、基本構想・基本計画の策定作業を進めてまいります。

3 スポーツ活動の推進

3点目は、「スポーツ活動の推進」についてです。

生涯にわたってスポーツに親しみ、技術向上を目指したスポーツ活動ができるよう、岩見沢市体育協会やスポーツ推進委員等と連携し、「楽しいキッズスポーツ教室」や「ウォーキングマラソン大会」の開催など、幅広い世代のスポーツ機会の充実に努めるとともに、スポーツ施設の安全で快適な環境づくりに取り組んでまいります。

また、市内スポーツ団体の活動をはじめ、全道・全国大会の地元開催や全国大会出場等に対する支援を行うとともに、オリンピック・パラリンピックを目指す強化指定選手等に認定された子どもたちを対象に新たな奨励金制度を創設し、地元アスリートを応援してまいります。

東京パラリンピックの開催に向けた合宿誘致では、北海道教育大学岩見沢校と連携し、国内外競技団体への誘致活動を継続するとともに、合宿の受入れ時には、選手と市民との交流を図ってまいります。

4 図書館運営の充実

4点目は、「図書館運営の充実」についてです。

図書館は、「地域の知の拠点」として、図書、記録、資料などの収集、保存に努め、市民が必要とする知識や情報を提供するとともに、多彩なイベントにより幅広い世代に対応した読書普及活動を展開してまいります。

また「いわみざわの子ども読書プラン」に基づき、ブックトーク、どくしょノートの活用など、引き続き子どもたちが本に触れる機会

を広げます。さらに、11月に学校図書館とシステムを統合することにより、子どもたちが市立図書館の蔵書を学校図書館で借りられる仕組みを整備してまいります。

また、ボランティアの育成と合わせて、すべての赤ちゃんに絵本を贈るブックスタート事業の充実に努めてまいります。

IV 子ども・子育て支援の推進

次に、「子ども・子育て支援の推進」についてです。

1 子ども・子育て支援の充実

1点目は、「子ども・子育て支援の充実」についてです。

子どもたちが健やかに成長し、楽しく子育てができるまちを目指して、「岩見沢市子ども・子育てプラン」に基いた、様々な取り組みを進めてまいります。

こども・子育てひろば「えみふる」において、子育て支援センターや親子ひろばひなたっ子、幼児ことばの教室、あそびの広場、保健センターの各機関が連携して支援の充実に努めるとともに、一時預かりや病児・病後児保育事業など多様な保育を実施し、引き続き、第2子、第3子保育料を無料とするなど、「このまちで、子どもを産み、育てたい」という思いに応える環境づくりに取り組んでまいります。

また、4月に開園する「栗沢認定こども園」では、地域との交流を活かすなど、新しい幼児教育と保育を進めてまいります。

さらに、日常的に医療的なケアを必要とする子どもたちが、安心して保育や教育を受けることができるよう、こども園や学校に看護師を配置し、全ての子どもがともに成長できる環境づくりに取り組んでまいります。

2 子育て相談体制の充実

2点目は、「子育て相談体制の充実」についてです。

誰もが、いつでも気軽に相談や支援が受けられるよう、子育て支

援センターなど「えみふる」の各機関が連携し、教育支援センター、児童相談所のほか関係団体と協力して、子育て相談体制の充実を図ってまいります。

また、特別な支援を必要とする子どもたちのため、子ども発達支援センターを中心に安心して子育てができる環境づくりに取り組んでまいります。

3 放課後児童クラブの充実

3点目は、「放課後児童クラブの充実」についてです。

子どもたちに遊びと生活の場を提供する児童館を運営するほか、留守家庭児童のため、放課後児童クラブを運営し、様々な体験活動や子どもの居場所づくりを通して、子どもの成長を支え、子育てを支援してまいります。

また、平成30年度に対象学年を6年生まで拡大するため、学校施設を活用したクラブ室の整備等、準備を進めてまいります。

4 青少年健全育成の充実

4点目は、「青少年健全育成の充実」についてです。

岩見沢市地域子ども会育成会連合会などの関係団体と連携し、さまざまな体験事業などに取り組むとともに、青少年センターを中心に、学校・家庭・地域の協力を得ながら、街頭補導や有害環境の改善に努めてまいります。

また、SNS等インターネットの利用について、子どもたちが自ら考え、正しく行動できるよう、学校や家庭と協力して、情報モラル教育やメディアリテラシーの向上に取り組んでまいります。

V おわりに

教育は人を幸せにする営みです。

「岩見沢で子育てがしたい」「岩見沢で学びたい」「岩見沢に住みたい」と誰もが思え、コミュニティの形成にも貢献する教育施策の

推進に努めてまいります。

議員の皆さま、市民の皆さまのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。